



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2026.02 >

BULLETIN

2025 年 7 月～2026 年 6 月

会 長 樋口 順英
副 会 長 青木 方枝
書 記 村杉 一榮
会 計 小仁 恵子
監 査 柿沼 敬喜
担当主事 柳原みずき

国際会長 エドワード・オン
アジア太平洋地域会長 田上 正
東日本区理事 山下 真
関東東部部長 鈴木 雅博
クラブ会長 樋口 順英

「信念、愛、行動」
「信念と愛を持って行動しよう！」
「ワイズのらしさ再発見」
「(変革) 若者から発信」
「若々しく、心安まるクラブライフ」

2 月 TOF を迎えて

しかし、この種のものは、祈りと断食によらなければ、出て行きます。

マタイによる福音書 17 章 21 節(この種のものとは、悪霊のこと)

2026年 2 月例会

日時: **2026年 2 月 18 日(水)**

17:30～19:30

場所: 東陽町センター

司会: 青木 方枝メン、 受付: 村杉 一榮メン

開会点鐘 樋口 会 長

ワイズソング、ワイズの信条唱和 全 員

ゲスト、ビジター紹介 樋口 会 長

聖句・お祈り・食事 西澤 紘一メン

卓話: 「賛育会赤ちゃんの命を守るプロジェクト」

卓話者: 大江 浩 氏

(社会福祉法人賛育会)

ハッピーバースデー 西本東司・晃子、

柿沼敬喜、高谷恵子

各種報告 樋口 会 長

YMCA 報告 柳原 担当主事

閉会の言葉・点鐘 樋口 会 長

【例会出席率】 在籍:16名 1月出席率8/13 62%

出席:1月 (メン8名、メネット0名) 計8名

【ニコニコ】 ¥7,000

2026年2月例会 卓話のご案内

「賛育会赤ちゃんの命を守る
プロジェクト」

～すべてのいのちが守られる
ために～

卓話者: 大江 浩 様

わたしたち東京グリーンワイズメンズクラブは、社会福祉法人賛育会/法人事務局ミッションサポート部部長 / 赤ちゃんの命を守るプロジェクト事務局長、大江 浩 様に卓話をいただきます。

賛育会のミッション、「赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト」の目的と3つの事業の実践を通して私たちが問われていることについて、共に考えたいと思います。

(小仁 記)

【25/26 年度会費振込のお願い】

振込口座は下記でお願いいたします。

みずほ銀行 深川支店 #446 (普通) 3064402
名義 トウキョウグリーンワイズメンズクラブ



◆2026年1月新年例会報告

日 時：2026年12月21日(水) 17:30~20:00

場 所：東京 YMCA 東陽町センタ

出席者：青木、小仁、佐野、西澤、根本、樋口、

村杉、柳原各メン、

ビジター：佐藤 健氏(千葉ウエストクラブ)

▲ 概要

- ① 聖句のあと、毎年恒例の日本酒(少量)にて乾杯し、蔵前の老舗「大新」のお弁当に舌鼓をうつ。
- ② 佐藤 健氏の卓話では、周到な準備と、東日本大震災復興を感じさせる数々のワイルドな写真に心が躍りました。
- ③ 連絡事項が多かったため、詳細は書面配布し、説明を短くしました。(あとでゆっくりお読みいただく)
- ④ ニコニコスピーチは今回は特に話題が豊富

▲ 卓話のあらまし、感想



卓話者：佐藤 健氏【写真上】

卓 題：「みちのく潮風トレイルを歩く」

- ① 昨年千葉YMCA定年退職を機に、25年4月23日青森県の八戸を起点とし、福島県の相馬に至る三陸海岸経由の1,033km(4県28市町村)を、50日間で踏破しました。(お疲れ様でした！)
- ② ストレスなく旅をするため工夫を凝らし、たった9kgの装備によるウルトラライトハイクで、また体力と気力があるうちに北から南下する作戦が成功、地図など周到な準備には感心しました。
- ③ 装備にはお金がかかりましたが、宿泊代や交通費は節約しました。(失業給付金をうまく使いましたね。)
- ④ 東日本大震災から復興しつつある現場を多くの写真でみることができ、ほっとしました。
6月の石巻市での東日本区大会では様々なエキスカッションが用意されているので、ぜひ自分の目で確かめたいです！ (村杉 記)



▲ 各種連絡事項

(1) 2026年神田川船の会日程決定

- ① 5月9日(土) 予備日6月13日(土)
- ② 10月10日(土) 予備日未定

(2) ワイズ・ナイトフォーラム(Zoom 開催)

このたび東日本区では、TOF 活動として行っている不登校問題をテーマとし、ワイズ・ナイトフォーラムを3回にわたりZoom 開催中です。

日 程：1月25日(日)、2月15日(日)、3月22日(日)

時 間：20:00~21:00

(3) 4/18(土) 京都パレスクラブ55周年記念例会

(4) 6/6(土) 第29回東日本区大会(石巻市)

(5) 9/10~14第75回ワイズメンズクラブ国際大会

(in ドバイ)：参加予定者：青木メン

▲ ニコニコひとこと

◆樋口順英メン：

- ・在京新年会の後に柿沼メンが負傷し、青木メンとともに病院に付き添った経験から、(とくに高齢者は、)マイナカードとクレジットカードとマスクは常に携帯すべきだと思う！

◆青木方枝メン：

- ・樋口メンと一緒に病院に付き添ったが、病院が見つからず、また治療まで1時間待ちで困った。タクシー運転手さんのご協力に感謝！

◆村杉一榮メン：

- ・当クラブは卓話が充実、今年度後半も楽しくすごしたい。

◆根本幸子メン：

- ・元旦に電気が切れた。翌日修復したが、自分もキレた。

◆佐野守メン：

- ・在京新年会の終了時間はできるだけ守ってほしかった。
- ・ワイズ活動に力を入れていきたいが多忙な毎日である。

◆西澤紘一メン：

- ・風呂場で転倒した。年齢のセイカ。
- ・ゴッホ展、オルセー美術館展など楽しんでいる！

◆小仁恵子メン：

- ・主人は病気回復したが、自分はひざを痛めて苦勞している。

◆柳原みずきメン：

- ・1月5~10日、香港中華 YMCA 大学生グループ12名の視察団に対応した。ある学生から「日本は設備が整っているが高齢者に元気がない。一方香港の設備はよくないが、高齢者は元気だ」との意見が出たのが印象にのこった。【P4右下に関連写真あり】

▲ ハッピーバースデー：根本、佐野、樋口各メン

(村杉 記)

◆今後の卓話予定

① 3月例会

日 時:3月18日(水)

17:30～

場 所:東京 YMCA
東陽町センター

卓話者:山口 和彦 氏

(東京町田コスモス会長)【写真上】

卓 題:「**こころと脳の健康を考える**」

「こころ」と「脳」の関係について、喜怒哀楽、愛、平安などをキーワードに考えながら、認知症になりにくい、ストレスをためない生き方についても一緒に考えたいと思います。



② 4月例会

日 時:4月15日(水)

17:30～

場 所:東京 YMCA
東陽町センター

卓話者:仲山 淳子 氏

(にほんご学院 講師)

【写真右】

卓 題:「**再発見！日本語ってどんな言語？**」

好評だった25年5月例会卓話に続き、
今回再登壇が決定しました！！



③ 5月例会

日 時:5月20日(水)

17:30～

場 所:東京 YMCA
東陽町センター

卓話者:宮地 正人 氏

【写真右】

卓 題:「**なぜ76歳になっても ラテンダンス
競技会に挑戦しつづけるか**」

- 英語堪能なるも、体育が不得意だった宮地さんは、フィリピンで54才から社交ダンスを始めました。(次第に頭角を現し、)
- やがて2023年、73才のとき社交ダンス競技会の最高峰、英国ブラックプール・ダンスフェスティバルに出場。計14個の金メダルを獲得し、一躍フィリピン「時の人」となりました。
- 世界の頂上に昇りつめた経緯、心がまえなどをお伺いし、健康の秘訣など、高齢者が元気が出るような話をして頂きます。(樋口 記)



◆「関東東部の集い」開催のお知らせ

日 時:2026年3月7日(土)PM

場 所:東京 YMCA 東陽町センター

ゲストスピーカーに「聖カタリナ病院」病院長辻壮一先生をお迎えし運動療法に関する講演をいただく予定です。

◆2026年在京新年会報告

日 時:2026年1月10日(土)13:15～16:00

場 所:東陽町センター、出席者:99名



【写真上】佐野、樋口、村杉、柳原、根本、柿沼、青木各々

1部: **新年ご挨拶:東京 YMCA 総主事の星野太郎氏**

1. 世の中で人と人とを分け隔てる動きがある中で、人と人を繋ぐワイズ・YMCAでありたい。
2. 2030年東京YMCA150周年にあたり VISION 150行動指針(下記5つの大切な項目)を掲げた中期計画が、ことし力強く2年目を迎えたい。
① ユース ②地域 ③多様性 ④環境
⑤上記①～④達成のための組織強化
3. 昨年第39回チャリティーランは盛況で、全12クラブからの支援に感謝します。ことしは第40回をむかえるので引き続き支援をお願いします。

2部:「ユースと話す、ワイズを語る」

「ワイズはユースとの関わりで何が出来るか」をテーマに、6グループでディスカッションしました。

3部:懇親会

(樋口 記)

◆今後の主なスケジュール

- 1) 2月11日(水) 2月第二例会(Zoom) 15:00～
- 2) 2月15日(日) 第2回ナイトフォーラム(Zoom) 20:00～
- 3) 2月18日(水) 2月第一例会(東陽町) 17:30～
- 4) 3月 7日(土) 関東東部の集い(東陽町) PM
- 5) 3月14～15日 次期会長研修会(東山荘)
- 6) 3月22日(日) 第3回ナイトフォーラム(Zoom) 20:00～
- 7) 4月18日(土) 京都パレスクラブ55周年記念例会

世界中の冬の寒空に似合う チャイコフスキーの交響曲第5番



ペーター・チャイコフスキー作曲(1840-1893)

交響曲第5番ホ短調作品64(1888)

指揮:ベルナルト・ハイティンク(1929-2021)

アムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団(1974 録音)

「憂愁の音楽家」はウラル地方の下級貴族に生まれ、幼少時から音楽に恵まれた環境で過ごしました。

彼は48歳頃、モスクワ郊外フロロフスコエという風光明媚な地に住み、交響曲第5番を作曲しました。

この曲は、ロシアのローカル色豊かなメロディーを取り入れ、抗えない運命に支配された自分の喜怒哀楽の感情を表現したと言われています。初演当初から人気が高く、ロマンティックなフレーズと、聴きどころを捉えたオーケストレーションで世界中を魅了しています。

夫々のこころの中の冬景色を思い浮かべながら聴けば元気が出ると思います。私は、木枯らしに身をすくめた小学生の頃や、冬枯れの井の頭公園などを思い出します。

第一楽章、出だし低音のクラリネットの暗そうなメロディー(「運命のテーマ」といわれます)にはじまり、つぎに哀愁漂う不安げなメロディーがあらわれ、時に明るさを覗かしながら、曲全体が流れていきます。

第二楽章、冒頭のホルンの長いソロが美しい。オーボエの甘美なメロディーとの掛け合いが繊細です。

第三楽章、ロシア風味のワルツ。次楽章へのつなぎ。

第四楽章、「運命のテーマ」が長調で晴れ晴れと奏され、前向きな気分になれるフィナーレです。TV でも有名に。

推薦 CD は、オランダの巨匠ハイティンクの指揮。力がみなぎり絶好調(45歳頃)のときの録音です。

名門コンセルトヘボウ管弦楽団の独特の美しい響きが堪能できます。しっとりした弦と、名手ぞろいの木管の美しさに、金管のシブい音色が合わさり絶品です。(樋口 記)

1. 会員部より会員や関係団体等に「**クリスマス募金**」の協力をお願いしたところ、個人 523 名、企業・団体11法人、総額1,923,010円のご支援をいただいた(12月末現在)。ユースボランティアリーダー養成募金、国際協力募金、フレンドシップファンド、ウクライナ支援のために用いる。

2. 2026年度に実施される海外交流プログラム「**ダイナミックサマー**」の受付を開始した。埼玉・横浜・名古屋・東京YMCAが協働して企画し、小3～高校生を対象に、アメリカ各地のキャンプ場を中心に10コースが設定されている。

3. 今後の主な行事予定

・「**ソシアスフォーラム2025**」1月31日

会場:山手センター(オンライン配信あり)

テーマ:『赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト』が問うこと』

基調講演:大江浩氏

(社会福祉法人賛育会)

法人事務局ミッションサポート部部长

・赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト事務局長)

・「**早天祈禱会**」2月2日(山手センター／オンライン)

奨励:古賀博(日本基督教団早稲田教会牧師・

東京YMCA評議員会会長)

・「**第14回 KIDS ENGLISH CONTEST**」2月14日

会場:東陽町センター

・「**YMCAピンクシャツデー2026**」2月25日

(いじめ反対運動)

・「**陽春のつどい**」2月28日12:30～

会場:東陽町センター

(クラブ担当主事:柳原 記)

【写真下】

香港中華 YMCA 大学生グループ12名一行が、東京 YMCA 医療福祉専門学校を訪問しました。

